

2010年12月22日

株式会社みずほ銀行

「第4回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」受賞について

株式会社みずほ銀行（頭取：西堀 利）は、国土交通省の推進するバリアフリー化の実践および普及啓発に多大な功績があったとして、金融業界として初めて「国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰」を受賞することとなりました。

「国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰」は、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰し、優れた取り組みを広く普及させ奨励することを目的に、2007年度に創設されました。

みずほ銀行では、少子・高齢化の進展や高齢者・障がいをお持ちのお客さまの社会参加の機会増加を踏まえ、2005年11月より、「年齢・性別・障がいの有無にかかわらず、誰にでも利用しやすい銀行」を目指して、「ハートフルプロジェクト」を推進してきました。本プロジェクトでは、店舗・設備・機器類などの「ハード面」、お客さま向け書類・インターネットコンテンツなどの「ソフト面」、お客さまへのおもてなしのスキル向上を目的とする教育推進などの「ハート面」の3つの側面について、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を目指してまいりました。

今般、お客さまなどからのご意見も踏まえ、利用しやすい店舗作りに、全社的に継続して取り組んできたことが評価され、このたびの受賞となりました。

みずほ銀行は、今後も社会のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化に率先して取り組んでまいるとともに、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化に取り組むお客さまを金融面からサポートすることにより、活力ある長寿社会の実現に貢献してまいります。

以上

ご参考

●ハード面の取り組み



通路幅や間仕切りの整備



車いす利用者用駐車場



お客さま用多機能トイレ



視覚障がい者対応 ATM

●ソフト面における取り組み



耳マーク表示板・
筆談用ホワイトボード



コミュニケーションボード

●ハート面における取り組み



社員向けマニュアル



研修の様様